



冬の初の土いじり

大 岩 金

次第／＼に冬の氣分になつて參ります。従つて花壇の方も段々さびれてゆき仕事も少なくなります。しかしまだしなければならぬ數々の仕事が残つて居ります。

一、秋咲球根類の仕末

ダーリヤやカンナやグラデオラスなどの球根のまだ掘りあげてない分は早く地上部數寸を残して切りこの時ダーリヤにおきましては名稱札のついて居りますもので上部の枝にありますならばこれを球根に接してつけなほして掘りあげ半日位日に乾して然る後先年申しましたやうな方法で貯藏す

るのであります。

グラデオラスにありましては古球根や到底翌年開花の見込みのないやうな小さい子球はこの際取り除いて後貯藏しておくのであります。

二、霜除け

霜除けを要するものでまだ仕残りのあるものになるべく早くしなければなりません。

又堪寒性のもので土鉢に植つてゐるものは氷の爲鉢がわれますのは屢々ある事でありませう。是等は鉢のまゝ土中に埋めますその深さは鉢の最上部と土面と平になる程度であります。

又地植のものに霜柱のたつのを防ぐ方法の一つとしてモミガラをまき散す事もあります。

三、花瓣や果樹の剪定

冬期剪定を行ふ時であります。

花木にありましてはバラや蓮翹など伸びすぎた枝は前月に引續き切りつめておきます。かくして切り離れた枝の中丈夫さうな芽のありますものは五六芽毎の枝に切りまして露地ならばなるべく日當のよい場所を選び挿木にしておくのであります。是等落葉ものは早春二三月頃の芽の動く前と申しますが私の少ない経験ではあります。却つて年内に挿しておいた方が活着仕易いやうであります。

蔓性のバラ等におきまして垣根に搦ませるやうな場合には今のうち芽の極めて小さい折にその配置を整へます事が必要であります。即ち春先になりましては芽が次第に大きく伸びますからあちこ

ち枝を動かします度に多少の芽を損するのであります。

四、病蟲害驅除

空地の多いこの候に充分に耕耘をしておきまして寒氣に曝します時は病菌や害蟲もその爲に亡される事が多いのであります。この外耕耘に依りましては土を膨軟にして土壤を改良する事も出来るのであります。

その他害蟲驅除と致しまして誰にも容易に出来まして最も有效なのはその卵を見つけ出して取る事でありまして一度幼蟲となりましては方々に散じ易くまた毛蟲の類にありましては假令見付かりましても手の出し難いものであります。かかる毛蟲も今は卵時代にて或は卵形に或は環状をなして堅い殻の中に潜み葉のない枝にかく附著してゐるのが數多見られます。この卵には手で觸れて見ましてもなか／＼に潰れるやうな事もなく従つてさ

まで氣持の悪いものでもありません。子供達はよろこんでいじりさうです。暖かい日には子供連で探して焼くなり潰すなりしておきませう。

又フレーム内は冬とは申せ色々の覆物で充分の保温をしてありますから是には蚜蟲の類もよく發生致します。怠らず驅除しなければなりません。藥劑としてはニコヒュームを使ひますのが最も手軽に出來まして且つ有效のやうであります。

五、秋菊の芽分

最も念いりに致しますには冬至の前後に芽分けをして苗床に第一回の假植をしておくのであります、この芽は今年開花しました親枝よりなるべく離れた所から出てゐる中等大の芽の方が後の發育の爲にはよいといはれて居りますこの芽を長さ二三寸に切り二三寸おきに一本宛一つの植穴に入れてその上に簡單な霜除をしておくのであります。

六、その他

フレーム内で生長して居ります草花即ちロベリヤや松葉菊や美女櫻の如きはその芽の伸びます度に適度の摘心をしまして徒長を防がなければなりません。又高温のため乾燥に失しては葉を損する事も應々あるのでありますからこの點にも充分の注意を拂はなければなりません。

